

子どもたちに伝えた「平和最高！」

森本啓一さんが語る戦争体験

戦争体験、平和への願いを子どもたちに伝える

みんなで「平和最高！」と叫んだ

森本 啓一

やあ、みんな元気かい。その後、夢に向かって青春してらるかい。

当時の有岡小の孫のような6年生97人と友達になった。きっかけは、平和の語り部として学校で自身の戦争体験を話したことに始まる。子どもたち手作りの平和かるたを取り、カレーを食べ、その後卒業式にまで招いてくれた。

平成27年8月に行った中央公民館での平和講演の様子が広報伊丹に掲載され「子どもたちに話をしてほしい」と、有岡小から連絡をもらった。

戦争中、朝鮮半島にいた僕らの家族は終戦とともに機雷の漂う女界灘を10日ほどかけて日本へ引き揚げた。その戦時下の体験や原爆の話子どもたちにしてほしいという内容だった。

1941(昭和16)年、6歳の時に太平洋戦争が始まった。小学校は国民学校になり、僕は少国民と呼ばれ、1年生から教育勅語を覚えた。

山に松根油を取りに行き、運動場の火鍋で炊いた。軍馬の餌となるわらや草取りも日課になった。手旗信号や敵機の種類を聞き分ける訓練。終戦の4年生まで、将来の夢は立派な兵隊さんになることだった。

太平洋戦争末期、母が作ったカレーは、ちくわも無くなり小粒のジャガイモと色だけになった。野球の「ストライク」は敵性用語として厳禁とされ「良い球」に、「ボール」は「悪い球」になった。首階のドレミは、ハニホヘトに替えられた。

45年、終戦のニュースは学校で聞いた。僕たち母子5人は父を残し、お金を出し合い闇船を雇った。乗船前に命の保証は無いと言われた。貨物の上に畳を敷き、1畳に7人が寝た。身動きもできない。女界灘には機雷が浮遊し、ソ連の臨検を避け、その度に鳥影へ隠れた。

祖国日本の地を踏んだ安堵の気持ちでどう表現したら良いのだろう。ただただ嬉しかった。ラジオの「尋ね人の時間」をしがみつこうように聞いた。そんな中でもみんな未来に希望を持ち、明るく元気があった。

有岡小の子どもたちは私の話をよく聞き、問い、はっきりと答えてくれた。目は輝いていた。皆「森本さん」と呼んでくれた。

平和を考える夏

展示

◆柿衛文庫コレクション「戦場から妻への絵手紙」展

日本画家の前田美千雄さんが戦場から妻や家族に宛てた絵ががき(右下写真)などを展示。
【日程】8月28日(日)まで。
【会場】市立伊丹ミュージアム1階の展示室1。

【観覧料】▽一般120円▽高校・大学生150円▽小・中学生110円。
◎戦場と伊丹の人々
千人針、召集令状、衣料切符、

◆平和と伊丹の関
第二次世界大戦の沖縄戦に関

無いと言われた。貨物の上に畳を敷き、1畳に7人が寝た。身動きもできない。女界灘には機雷が浮遊し、ソ連の臨検を避け、その度に鳥影へ隠れた。



(公財) 柿衛文庫蔵

入隊ののぼり・防空頭巾、防毒面―など戦争の恐ろしさを物語る資料を展示。
【日程】8月31日(水)まで。
【会場】市立伊丹ミュージアム2階の展示室4。


【観覧料】無料。
* *
○市立伊丹ミュージアム ☎772・5959。

◆第29回伊丹・平和の美術展
本市の美術家が平和への祈りを込めて絵画や写真、書など作品を展示。
会期中は「ウクライナ人道支援」募金箱も設置。
【日程】8月11〜15日。
【会場】東1 いたみホール
6階の中ホール。
【観覧料】無料。
○市文化振興課 ☎784・8043。

3. 火曜モーニングシアター
「火垂るの墓」の作者、野坂昭如さんの「野坂昭如戦争童話集 忘れてはイケナイ物語」を次の通り上映します。
★Vol.1 (日本・1997年。64分)
【日程】8月9日(火)。
【内容】▽「小さい潜水艦に恋をしたでかすぎるクジラの話」▽「凧になったお母さん」▽「年老いた雌狼と女の子の話」。

★Vol.2 (日本・97年。72分)
【日程】16日(火)。
【内容】▽「青いオウムと瘦せた男の子の話」▽「干からび

平和都市宣言



平和は人が生きるための大本です。戦争はかけがえない生命を奪い、幸せをふみにじります。いま、世界は恐ろしい核兵器をなくし、惨たらしい戦争のない社会をつくらうと、ようやく歩みはじめました。が、ここで心をゆるめてはなりません。戦争は人の心の中にひそんでいるのです。人類が幸せを分かち合える地球環境をつくり、自由と人権を尊び、差別や貧困をなくすことも、すべて平和の問題です。私たち市民は、平和な社会を築くことを誓い、ここに平和都市を宣言します。

平成2年11月10日 伊丹市

原爆死没者に黙とうを

77年前の8月6日午前8時15分広島市に、8月9日午前11時2分長崎市に原爆が投下され、多くの尊い命が失われました。原爆死没者のご冥福と核兵器のない世界を願い、各日時に1分間の黙とうをお願いします。また、8月15日は終戦記念日です。全ての戦争犠牲者のご冥福と世界の恒久平和を願い、正午から1分間の黙とうをお願いします。

市同和・人権・平和課 ☎784-8148

「ストライク」だった。自由に堂々とストライクを投げた君たち。私たちは尊敬し合い多くのことを学んだ。

私も6年生の時があった。太平洋戦争が終わり、生活は貧しくひもじかったが、平和な明るい光だけが嬉しかった。

また、ヒロシマへの修学旅行の前には原爆の話をした。原爆は体験していないが、周囲のヒロシマ・ナガサキの被爆者から胸がえぐられる、いろいろな話を聞いていた。僕にとってのヒ

ロシマは何度行っても街がまばゆく透き通って爆心地へ立てば光の明るさが違って見えるという体験を話した。

その後、有岡小の6年3組から招待状が届いた。「森本さんへ 有岡小へ招待します!①組み体操を見てもらう②一緒にカレーを食べる。みんなで感謝の気持ちを入れてカレーを作ったり歌ったりします。」

僕は教室で、これまでの人生で最高のカレーを食べた。肉がたっぷり、味も抜群。涙にぬれ

た象と象使いの話」▽「赤とんぼと、あぶら虫」。

【日程】23日(火)。
【内容】▽「八月の風船」▽「捕虜と女の子」▽「ソルジャーズ・ファミリー」。

★Vol.4 (日本・97年。79分)
【日程】30日(火)。
【内容】▽「馬と兵士」▽「ぼくの防空壕」▽「焼け跡のお菓子の木」。

いずれも午前10時、スワンホールで。
定員各20人。
無料。当日直接、会場へ。先着順。
○中央公民館 ☎784・8000。